

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1171700303		
法人名	株式会社ウェルフェアクリエイション		
事業所名	ソレアド鴻巣		
所在地	埼玉県鴻巣市上谷141-1		
自己評価作成日	令和2年12月19日	評価結果市町村受理日	令和 3年2月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai gokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	令和3年1月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の尊厳を守り、明るく暖かく安らぎのある施設づくりをしております。ご利用者様には、その人らしくご希望に添い生活していただけるよう心掛けています。また、提携医療機関との連携を図り、ご利用者様の健康管理に努めています。コロナウィルス蔓延下、職員は感染知識を身につけるよう努力し利用者様を守ることを第一に考えて行動しています。感染防止に配慮し、玄関にて短時間の面会をいただいています。天気の良い日は、外に出て施設内の庭を散歩したりして日光浴をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ケアサービスの基本を学ぶ介護技術検定制度のほか、職員研修システムやリスクマネジメントなど委員会活動が活発に取り組みられ、安心と安全が守られた利用者の元気で明るい日々の暮らしに結び付けられている。
- ・運営推進会議は、コロナ禍の中、メンバーが揃っての会議開催に替え、所内の全体会議において事業所の取り組みについての振り返りを行い、地域に開かれたサービスとして質の確保と向上にむけ取り組まれている。
- ・目標達成計画については、前年度は厚労省通知の要件を満たし、外部評価の実施は緩和されたものの、災害対策として、定期訓練では台所からの火災発生を想定した基本訓練を職員の勤務体制の少ない夜間に取り組まれるほか、職員の応援体制の確認や水害対策など取り組まれていることから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所に理念を掲示して目に出来るようにし、実践していくよう努めている	「楽しみながら免疫力を高め、ウイルスに負けない環境を作ろう」という年度目標のもと、利用者とのコミュニケーションと信頼関係を大切に、安心と安全を守り、その人らしく笑顔で過ごされる支援をされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設前の休耕地を無料で借りそばの実を蒔きそばの花を楽しむことができ、草とりなど知らない近所の方がしてくれていたりしていた	コロナ禍の中、ボランティアとの交流は出来ないものの、ご近所から季節の柚子や野菜を頂戴したり、蕎麦畑でお世話になった方々に、年越し蕎麦を打ちお裾分けするなど、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう支援をされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年度は、運営推進会議等が開催できてないため活かしていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染対策のため今年度は開催できなかった	コロナ禍の中、メンバーが揃っての会議開催に替え、所内の全体会議で、事業所の取り組みについての振り返りを行い、地域に開かれたサービスとして質の確保と向上にむけ取り組まれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護の方が多いため福祉課との連絡を密にしている	申請手続き時や報告・相談などの機会のほか、困難事例の受け入れ時などでコミュニケーションを図られ、良好な連携関係を築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について会議で知識を得理解している	法人研修や身体拘束適正化委員会が定期的に行われ、全職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、言葉での拘束を含め、行動の抑制をしないケアに取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会にてアンケートやその集計で学び、職員同士互いに注意しあい防止に務めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様個々の自立支援に努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約時は十分な説明を行い納得していただいている。また改定時同意書をいただいている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	その都度伺い運営に反映している	「散歩したい」、「揚げ物が食べたい」など、利用者の希望に応えられている。家族とは面会時などで意見・要望を聴き取り、職員間で話し合い、事業所運営や日常のケアに反映をされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議の場で意見交換をし反映させている	全体会議やリーダー会議で意見・提案の聴き取りをされているほか、各種委員会を組織され、発言し易い環境がつけられている。その中で、食材購入先の変更や感染症対策など、具現化されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	貢献度評価に基づき給与に反映させている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全社で技術検定を実施し、結果をもとにアドバイスをし、ケアの向上が出来るようなシステムとなっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	リモートで社内同業者と会議、研修会でサービスの質を向上させる取り組みをしている。今年度は市の集まりがなかった。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様とのコミュニケーションの中で信頼関係を築き不安を解消し要望などできる限り実現できるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との話し合いで利用者様への想いを共有するよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一番必要とされているサービスをまずは優先し、徐々に利用者様の必要とされていることを対応するよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションを一緒に楽しみ日常の会話を大切にしながら1日を過ごしている事を実感していただきたいと思っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に相談し利用者様にとって良いケアを目指している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ウィズコロナ中、短時間でも面会で関係が途切れないように努めている	コロナ禍の中、友人・知人との面会はLINEのビデオ通話を使いコミュニケーションを図られるほか初詣や初日の出もTVのライブ放送で楽しまれている。また、ペットのかわいい兎や金魚を見ながら利用者同士、共に癒しの時間を過ごされるなど、馴染みの関係が途切れないよう支援をされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話のなかで孤立することがないように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談に応じている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスに参加していただいている。	「気付きの介護を創造するソレアード鴻巣」という理念のもと、職員全員が利用者一人ひとりの思いや意向について関心をはらい把握に努め、支援に取り組まれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様やご本人からの聞き取りで生活歴等は把握しケアに生かすよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を観察し現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで現状を話し合い様々な意見を聞き介護計画書を作成している	利用者・家族から思いや意向を聴きとり、医師・看護師からの指示を含め、全職員の意見やアイデアを活かし、その人らしさを大切に、安心・安全に過ごされるよう、きめ細かな介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の様子を観察し、気づきを記録、情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在の事例はないが、柔軟な支援は必要と考えている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	書道教室、ボランティアの方の歌等を楽しんでいただいている。現在は、自粛		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際は、家族の意向、了解を得てかかりつけ医にかかり様子を報告し良好な関係を保っている	入居時に利用者・家族の希望を尊重し、医療機関の選択をしていただいている。専門医等かかりつけ医の受診支援は家族対応を基本とするも、職員同行も適宜行なわれ、必要な情報提供を行ない、適切な診療が受けられるよう支援をされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気づいたこと、異変時は、すぐ看護師に報告し対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、現在までの様子を事細かに情報提供し、利用者様が不安なく過ごせるよう面会している。退院後の生活については相談を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用者様、ご家族様の意向をくみ取り、事業所として出来ること、最善の策を話し合い、職員が情報を共有することによってチームとして支援に取り組んでいる	利用者の症状に合わせ、重度化・終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族と意思統一を図られている。その後も意思確認を進めながら、医師・看護師と連携のもと、重度化や看取り支援に取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急講習を定期的に行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施を定期的に行い職員は避難方法を身につけるようにしている。地域班の連絡網が作成されている	定期訓練では台所からの火災発生を想定し、通報・避難誘導訓練を職員の勤務体制の少ない夜間に取り組まれている。また、職員の応援体制の確認や水害対策、備蓄品の点検整備など、体制整備に努められている。	災害対策には十分取り組まれています。今期、一部職員の異動があり、災害時の組織対応力の維持向上に向けた継続的な取り組みに期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳を守るような声かけや対応に努めている	居室やトイレでの排泄介助時には必ずドアを閉めること、入浴時の羞恥心への配慮など、利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわぬよう気遣いを持つなど、きめ細かな対応が取られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望に添うよう声掛けで返事を聴いて対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様優先で支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容に気を配り好きな洋服をえらんで着用される支援をしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	歩行安定している方には片付けをお願いしている	野菜の刻み方を職員に指導される方、煮豆やなますなどお節の味付けをされる方など、利用者個々の状態に合わせ食事づくりに取り組まれている。また、イベントでは手打ち蕎麦や寿司、旬の松茸料理など、食の楽しみを大切にした支援が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	塩分に注意し栄養バランスの取れる食事を提供し、水分表を作成し水分不足にならないよう努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケア実施、義歯の手入れ介助が必要な方の支援をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声掛けをして出来ることは、ご自身で行っていただくよう支援している	利用者一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行ない、トイレでの排泄と自立に向けた支援がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量の把握、体操、腹部マッサージ、食物繊維を取り入れた食事などで便秘予防に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の希望や体調にあわせて入浴を支援している	利用者の体調に合わせて、シャワー浴をされている方、一部職員複数での支援を必要とされるも、皆さん浴槽に浸かり入浴を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温管理、寝具の清潔保持、季節に応じた寝具の提供で安眠できるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を確認し理解している。服薬は利用者様の服用状況に合わせて介助見守りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設内や庭の散歩などで気分転換を図り、掃除のお手伝い、パズル、クイズ、雑誌の提供、好きなテレビ番組で楽しみを支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	正月、春秋など外出支援をしていましたが、コロナ禍の為、外出はしていない	利用者の希望に沿い、ドライブや公園散策、季節毎のお花見、買い物や食事に出かけているが、現在は外出を自粛し、事業所周辺での散歩や外気浴、畑仕事などを楽しまれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持をされている方の要望を聞いて対応している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、手紙のやり取りの支援をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾りを利用者様と作り季節を実感していただく工夫をしている	玄関やエレベーターホールなど、共用スペースには、門松や破魔矢などが飾られ、季節感ある装飾が為されているほか、室温や湿度、採光や換気など、きめ細かな配慮がとられ、利用者が気持ちよく過ごせるよう工夫をされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファで寛いで頂いたり、自席でゆっくりテレビが見ることが出来るよう工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみのある家具や写真、装飾品をおいている	馴染みのタンスや鏡台、家族の写真や好きな音楽を楽しむCDプレイヤーが持ち込まれるなど、利用者が居室で落ち着いて生活できるよう工夫をされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な歩行を助ける手すり、扉には大きな文字で示した名札の表示をしている		

(別紙4(2))

事業所名:ソレアード鴻巣

目標達成計画

作成日: 令和 3年 2月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災想定避難訓練は殆どの職員が参加できているが、水害想定訓練は参加できていない職員が多い。	1階から2階へ階段を使用し、迅速・安全に避難できるようにする。	新人職員を含め、体験していない職員が参加できるように、月1回計画を立てて階段を使用し2階へ上がる訓練を行う。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。